



学校法人近畿大学弘徳学園
近大姫路大学
近畿大学豊岡短期大学
近畿大学豊岡短期大学附属幼稚園

平成25年度 事業計画書

学校法人 近畿大学弘徳学園

I 法人の概要

(1) 学園設立とあゆみ

学校法人近畿大学弘徳学園は、平成16年4月に学校法人近畿大学から、近畿大学豊岡短期大学（同通信教育部）及び同附属幼稚園を母体として分離・独立した。そして、多年の懸案であった看護系の四年制大学、「近大姫路大学看護学部看護学科」を平成19年4月に開学し、近畿大学の姉妹法人として、3つの学校を経営する学園へと発展し、さらに、平成19年12月に文部科学省から、「近大姫路大学教育学部こども未来学科及び同通信教育課程」増設の認可を受け、平成20年4月に増設した。

その結果、本学園の経営規模は、独立4年目にして姫路市及び豊岡市に2つのキャンパスを有し、近大姫路大学の2学部2学科に、教育学部通信教育課程を加え、近畿大学豊岡短期大学こども学科及び同通信教育部並びに同短大附属幼稚園等を運営する学園となった。

(2) 学園の建学の精神と教育目標

本学園の建学の精神は、近畿大学の創設者である世耕弘一先生が説かれた「教育の目的は、人に愛され、信頼され、尊敬される人を育成することにある」を座標軸とする。そして、この精神を具現化するためには、自然環境に対する優しい心、人をおもいやる心、社会に対する深い洞察力及び正しい歴史観を体得することによって、はじめて、人に愛され、人に信頼され、人に尊敬される人間を養い得ると考えている。

この建学の精神を達成するために、本学園では次の教育目標をかかげ、その実現に向け教職員一体となって邁進することに努めている。

- ①人間は人間だけで生きているのではなく、自然の中で他の生命とともに、生かされているという認識及びその共生を推進するための実践力を培う。
- ②専門職業人としてもつべき基本的な倫理観及び思いやりの心を培う。
- ③専門的に必要な基礎知識・技術を修得するとともに、創造性を培う。
- ④社会・歴史に対応する深い洞察力を身に付けるとともに、豊かな人間性を培う。
- ⑤国際社会に適応しうる感性を育み異文化を理解しうる人を培う。

II 事業計画の概要

(1) 予算編成の基本方針

私学を取り巻く環境は、少子化の進行と、長引く国内外の経済不況により大学・短大の経営は、厳しい競争環境にあることを認識することが重要であり、加えて、東日本大震災や原子力発電所の事故等がもたらした大きな環境変化などの問題もあり、私学助成の今後のあり方は、楽観できない見通しであります。

こうした状況下にあつて、学園が、本来の目的である教育と研究を永続的に維持し、かつ内容の充実を図るためには、学園経営における「健全な財政の維持と発展」を目指すものでなければなりません。そのことは、中・長期的な財政予測を踏まえた予算編成なくして実現できません。

もとより、予算編成の基本は、予算編成の過程において、各所管の意見がよく反映され、教育その他の諸活動の計画と一体化した取組みが重要であり、諸活動のすべての領域を包含することに留意し、学生生徒等納付金を中心とする収入予算の編成についても、入学者の動向をよく見極め、実態に即した予算を編成することに心がけなければなりません。

したがって平成25年度の事業予算を含めた「学園全体の支出予算は、収入予算の範囲内」に抑えることを目標とし、あくまでも、「収支の均衡」と「冗費の削減」を十分に考慮のうえ、「学校法人会計基準」、「勘定科目処理要領及び細則」に準拠した予算を編成することを基本方針とします。

なお、今日の学校経営は、財務情報はもちろんのこと、教育情報の公開が義務付けられ、経営の透明性と説明責任がより一層問われる時代であり、こうした時代の要請に応え得る予算編成をおこなうことが重要であります。

事業計画予算

- 教育研究と教育環境の充実に配慮
- 施設等の安全性確保に配慮
- 学園の将来構想を基礎として計画
- 緊急性、重要性、収支のバランスに配慮

収入予算

- 学生生徒等納付金については、在籍学生数見込を基礎に計上
- その他の収入科目については、実績見込み等勘案して計上

経常的経費の支出計画

- 収支の均衡と冗費の削減を予算編成の基本としている
- 物品調達等の重要性と必要性及び緊急性を検討する
- 収入予測を超過しない経常的支出の計画を算定している

(2) 主な事業の目的・計画等

- ① 平成25年度の主な事業計画に係る経費は別表の通りである

別 表

(単位：千円)

事業No	対象学校	事業名	予算額
2501	法人本部	認定こども園の設立について(園舎新築工事及び開設に係る経費等)	244,500
2502	豊岡幼稚園	豊岡幼稚園の新園舎建築工事(認定こども園への移行)他	254,500
2503	豊岡幼稚園	豊岡幼稚園仮設園舎撤去工事	4,765
2504	近大姫路大学	近大姫路大学仮設校舎の設置工事(仮研究室及び通信教育課程用仮事務室)	55,300
2505	近大姫路大学	緊急時防災用品の購入	3,100
2506	豊岡短期大学	豊岡短期大学緊急時防災用品の購入について	2,000
2507	近大姫路大学	教育学部教員採用試験対策講座(直前1カ月間集中トレーニング)	720
2508	近大姫路大学	平成25年度看護学部看護師・保健師・助産師国家試験対策	5,538
2509	豊岡短期大学	豊岡短期大学 本館耐震補強工事	100,000
2510	近大姫路大学	近大姫路大学 LL教室教育用コンピュータ更新	30,000
2511	近大姫路大学	近大姫路大学 情報処理教室教育用コンピュータ更新	28,000
2512	豊岡短期大学	豊岡短期大学 和花季ひろば(食のフェア+育ちあいのなかまづくり)	975
2513	豊岡短期大学	豊岡短期大学 こどもフェスタ2013	390
2514	豊岡短期大学	豊岡短期大学学生主体型行事(サロンde近大、みてやま交流会、学内国際交流、豊岡おどり参加)	667
2515	豊岡短期大学	豊岡短期大学 地域交流よさこい大会	917
2516 —1	豊岡短期大学	平成25年度公開講座(音楽リサイタル・パソコン講座) 支出	3,220
2516 —2	豊岡短期大学	平成25年度公開講座(音楽リサイタル・パソコン講座) 収入	1,650
2517	豊岡短期大学	豊岡短期大学 玄関庇新設工事	8,000
2518	近大姫路大学	近大姫路大学通信教育課程 プログラム開発及び改修	5,828
2519	豊岡短期大学	豊岡短期大学通信教育部教務システムの改修について	5,000
2520	法人本部	女子事務職員制服の更新	1,155
2521	豊岡短期大学	豊岡短期大学 本館外壁塗装及び屋上防水シート張替工事	20,000
2522	近大姫路大学	テニスコート改修工事	9,715
2523	法人本部	近大姫路大学看護学部大学院の設置	10,000
2524	法人本部	近大姫路大学教育学部大学院の設置	10,000
事業合計			805,940
事業収入計			1,650
事業支出計			804,290

② 平成25年度の主な事業計画に係る概要説明

>>施設設備に関する主な事業

(イ) 近畿大学豊岡短期大学附属認定こども園（仮称）の設立準備

附属幼稚園を幼保連携型認定こども園へ平成26年4月（開園予定）に移行するために、近畿大学豊岡短期大学附属認定こども園（仮称）の設立準備を行う計画である。

平成25年度の事業として、現園舎を取り壊し、認定こども園用の新園舎を建築し、平成24年度に建築したプレハブ仮設園舎を解体撤去する。

また、保育園部門が新設されるため、円滑な保育事業が行えるように事前の研修等計画的に行う計画をしている。

(ロ) 近大姫路大学仮設校舎の設置工事（仮研究室及び通信教育課程用仮事務室）

近大姫路大学では、研究室不足の解消と新校舎建築時に仮設事務室が必要となるため、平成25年度にプレハブ仕様の仮設校舎2棟を建築する計画である。

(ハ) 豊岡短期大学本館改修工事

豊岡短期大学の本館校舎は、昭和42年の建築であり、今後予想される地震等に対応し、学生・近隣への安全配慮の観点から耐震補強工事を行い、同時に外壁塗装と屋上の防水シートの張替工事を行う計画である。

また、豊岡は山間地で雨や雪が非常に多い所であるが、現在の玄関は車回しが無いため来客時等に不都合なため、玄関にキャノピーを新設する計画である。

(ニ) 近大姫路大学コンピュータ更新

近大姫路大学の設立時に導入した授業用のコンピュータは経年劣化と陳腐化が進み、また、リース終了を迎えるため、LL教室と情報処理教室の教育用コンピュータの更新を計画している。

(ホ) 緊急時防災用品の購入

近大姫路大学と豊岡短期大学では、大きな災害時の緊急対応用品の備蓄を計画しており、食料、飲料水、衣類など年次的に備蓄する計画である。

>>学生の就学支援に関する主な事業

(イ) 看護学部における国家試験（看護師、保健師、助産師）対策は、低学年時からの計画的戦略が必要であり、集中講義ゼミや模擬試験などをきめ細かに開講する計画である。

- (ロ) 教育学部における教員採用試験対策について、集中トレーニング講座などの開講を計画している。
- (ハ) 近大姫路大学と豊岡短期大学では、授業料等を減免する形で、様々な奨学金制度を設け、学生の就学をサポートする事業を計画している。

>>地域貢献等を目的とする主な事業

- (イ) 近大姫路大学では、地域の様々な年代の人との交流を図り、地域への知の貢献を目指すとともに、大学施設の開放も積極的に行うため、「シニアオープンカレッジ」、「源氏物語を読む会」等の開講など事業を計画している。
- (ロ) 豊岡短期大学では、異世代間交流及び地産地消を通しての地域貢献を目指し、短期大学の学生と地域の多世代の人々との、双方向的表現活動による異世代間交流を通して、それぞれの学習成果を発表する場として「和花季ひろば 育ちあいのなかまづくり」と但馬・丹後地域の地産地消と食育をテーマとした「和花季ひろば 食のフェア」を計画している。
毎年開催し、地域から好評を得ている公開講座について、今年度も音楽リサイタルを中心とする一般教養講座の開講と、毎年定員をはるかに超える申し込みがあり、人気を博しているパソコン座を開講する。

(3) 学園の将来構想

本学園における将来構想は、次の通りである。

A 姫 路

- ① 看護学部マスターコース（大学院）の設置計画
- ② 教育学部マスターコース（大学院）の設置計画
- ③ 通信教育課程（教育学部）大学院の設置構想

B 豊 岡

- ① 近畿大学豊岡短期大学附属認定こども園（仮称）の設置申請

Ⅲ 財務の概要

(1) 予算の概要

① 資金収支予算の状況

(単位：千円)

収入の部	H25年度予算	H24年度予算(補正)	増 減	平成25年度予算概要
学生生徒等納入金収入	3,176,783	2,740,137	436,646	・授業料、入学金等の納付金
手数料収入	104,084	102,564	1,520	・入学検定料等の手数料
寄付金収入	0	0	0	
補助金収入	578,834	333,294	245,540	・私立大学等経常費補助金他
資産運用収入	1,122	1,122	0	・預金利息
事業収入	11,236	14,514	△3,278	・スクールバス代他
雑収入	10,793	10,829	△36	・コピー代等その他の雑収入
前受金収入	443,712	443,492	220	・翌年度の学生生徒等納付金
その他の収入	44,580	54,556	△9,976	・預り金
資金収入調整勘定	△443,492	△463,700	20,208	・前期末前受金
前年度繰越支払資金	1,804,284	1,533,093	271,191	・前期末の現金預金
収入の部合計	5,731,936	4,769,901	962,035	

支出の部	H25年度予算	H24年度予算(補正)	増 減	平成25年度予算概要
人件費支出	1,895,963	1,683,612	212,351	・本俸、賞与、諸手当、福利費等
教育研究経費支出	729,192	562,994	166,198	・教材等教育研究にかかる経費
管理経費支出	359,103	293,060	66,043	・学生募集経費等管理的経費
施設関係支出	577,600	251,077	326,523	・建物等施設に関する支出
設備関係支出	139,521	80,831	58,690	・機器備品等設備に関する支出
その他の支出	94,996	124,419	△29,423	・前期末未払金の支払等
予備費	30,000	30,000	0	
資金支出調整勘定	△55,994	△60,376	4,382	・期末未払金等
次年度繰越支払資金	1,961,555	1,804,284	157,271	・翌年度に繰越す現金預金
支出の部合計	5,731,936	4,769,901	962,035	

② 消費収支予算の状況

(単位：千円)

収入の部	H25年度予算	H24年度予算(補正)	増 減	平成25年度予算概要
学生生徒等納入金	3,176,783	2,740,137	436,646	※資金収支予算参照
手数料	104,084	102,564	1,520	
寄付金	0	0	0	
補助金	578,834	333,294	245,540	
資産運用収入	1,122	1,122	0	
事業収入	11,236	14,514	△3,278	
雑収入	10,793	10,829	△36	
帰属収入合計	3,882,852	3,202,460	680,392	・第1号・第4号基本金組入額
基本金組入額合計	△465,425	△302,811	△162,614	
消費収入の部合計	3,417,427	2,899,649	517,778	

支出の部	H25年度予算	H24年度予算(補正)	増 減	平成25年度予算概要
人件費	1,904,849	1,691,270	213,579	(退職給与引当金繰入額含)
教育研究経費	858,766	699,149	159,617	※資金収支予算参照(減価償却費含)
管理経費	381,374	313,751	67,623	(減価償却費含)
資産処分差額	139,449	807	138,642	・固定資産処分に係る除却費
予備費	30,000	30,000	0	
消費支出の部合計	3,314,438	2,734,977	579,461	
当年度消費収支超過額	102,989	164,672	△61,683	・収入超過状態
前年度繰越消費収支超過額	△988,761	△1,153,433	164,672	・△は支出超過状態
翌年度繰越消費収支超過額	△885,772	△988,761	102,989	・△は支出超過状態

※ 千円未満四捨五入しているため、合計等数値が一致しないことがある。

予算種類の説明

※資金収支とは

当該会計年度における諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容と当該会計年度における支払資金の収入・支出の顛末を明らかにするためのものであり、1年間のお金の動きを網羅したものである。

※消費収支とは

当該会計年度の消費収入及び消費支出の内容と収支の均衡状態を明らかにするものであり、1年間の事業成績を判断するもので、企業会計における損益計算書に近いものといわれている。

予算概要の説明

資金収支予算について

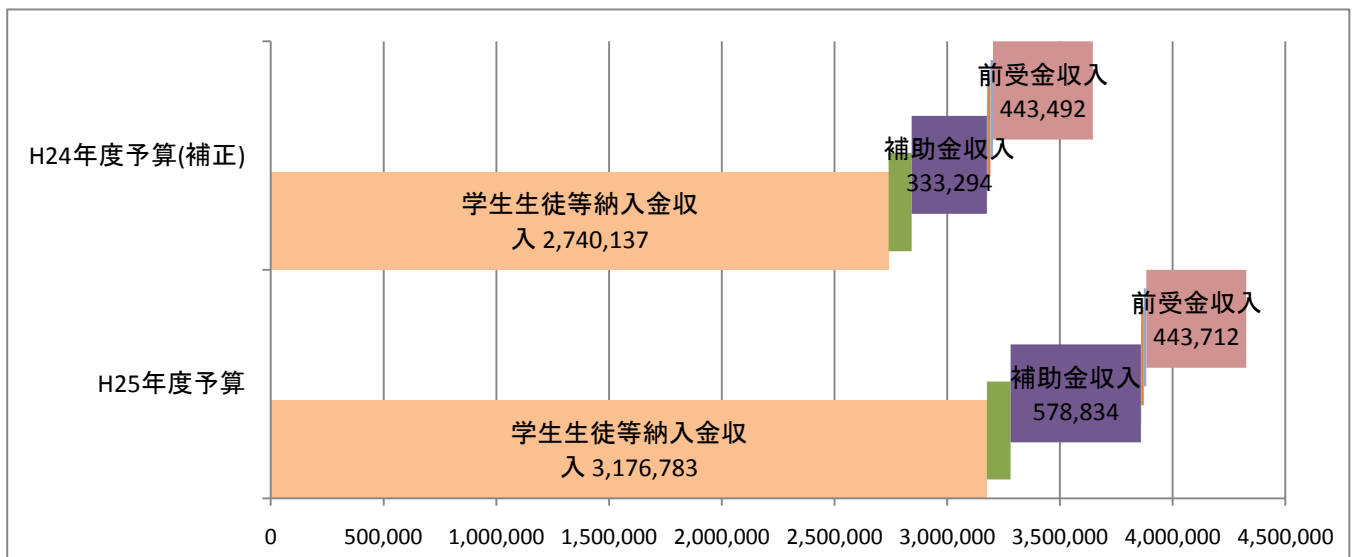
平成25年度資金収支予算では、25年度末に保有する現金預金、いわゆる次年度繰越支払資金が、19億6千万円と見込まれる。平成23年度決算にくらべ、4億2千万円増加が予測される。

資金収支予算の収入の部では、学生生徒等納付金及び補助金収入等の増加を見込んでいる。学生生徒等納付金の増加は、主に近畿大学豊岡短期大学通信教育部の2年課程の導入による入学者数の大幅な増加が大きな要因である。補助金収入の増加要因としては、認定こども園移行に伴う幼稚園舎建築工事に伴う補助金の交付見込額を計上するとともに、平成24年度から教育学部（通信教育課程含む）が補助金の交付要件となったため増加の予算を編成している。

資金支出の部合計では、前年度予算にくらべ9億円増加している。主な大科目の内訳としては、人件費 2億1千万円、教育研究経費支出 1億6千万円、管理経費 7千万円、施設関係支出 3億2千万円、設備関係支出 6千万円がそれぞれ増加している。

これらの支出は、収入予算増加要因の学生数見込の増加等による教育研究経費の増加及び幼稚園舎と近大姫路大学の仮設校舎の建築、また豊岡短期大学の校舎耐震補強など、施設関係の支出が大きく大幅な増額となっている。

資金収支収入予算における前年度予算のとの比較



単位：千円

消費収支予算について

平成25年度の消費収支予算における消費収支の状況は、約1億円の収入超過であり、前年度の決算から単年度収支では収入超過の状態が続いている。

本年度予算は、幼稚園舎の建築など、基本金組入対象資産の増加が大きく、第1号基本金組入額が、前年度補正予算より1億6千万円の増加となっている。

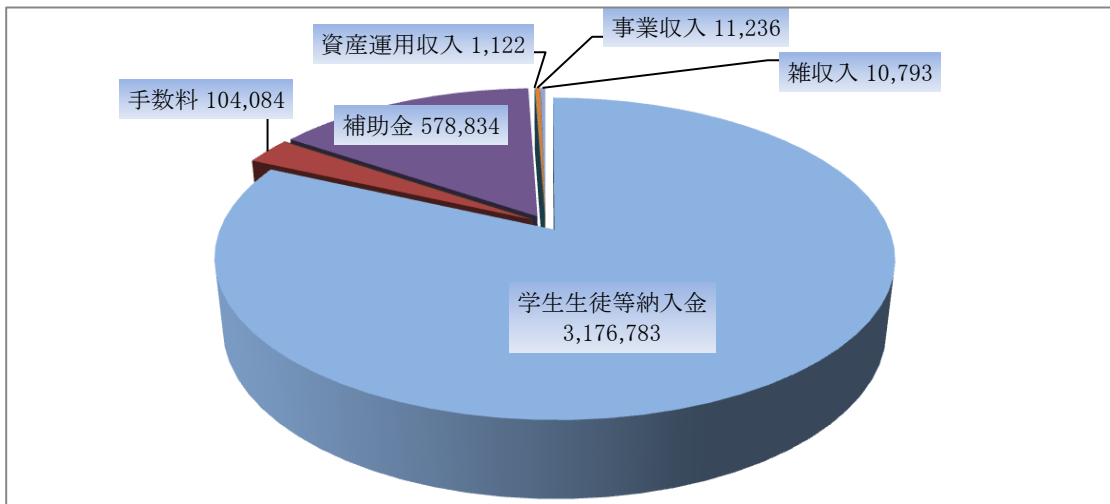
翌年度繰越消費収支の差額は、支出超過いわゆる赤字の状態にあるが、当年度収支改善により、約8億8千万円に累積赤字を圧縮する見込である。

この収支改善の大きな要因としては、学生生徒等納付金収入の増加であり、これは大学及び短期大学の通信教育で通信教育のニーズに合わせた、新コースや新免許課程を導入し、入学者数の増加が見込まれるためである。

消費支出については、平成24年度補正予算より約5億8千万円増加している。これは、人件費の増加と学生数増加に対応した、教育研究経費の増加が大きくまた、幼稚園新園舎建築に伴う、旧園舎建物及び機器備品等の除却費とプレハブ仮園舎の除却費を計上したため、資産処分差額の予算額が大きくなった。

よって、平成25年度は、収入・支出とも前年度までを上回る大きな予算規模となっている。

消費収支予算に係る収入の構成



消費収支予算における支出の構成

